

ドクトル伊田の
は口ほどに...



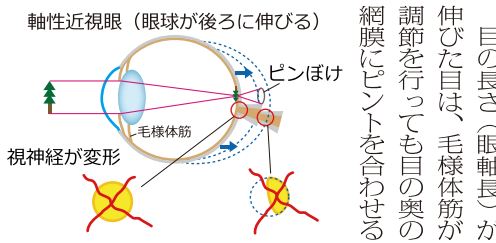
ピンボケで近視が進行する

No. 39

遠くの方が少し見にくいと気付いた時、たいいていピント合わせをする毛様体筋が緊張して固くなっていきます。学校の視力検査でB、Cなら遠くがピンボケで見えてないという事です。

近い距離ならはっきり見えているように感じますが、実は毛様体筋のピント合わせには少しずつズレがあり、これを元に調節を行っています。ですから毛様体筋が緊張して動きが悪くなるとズレが大きくなり、その結果ピンボケになっていきます。これは自分では気付きません。

近視の発生に毛様体筋の酷使による筋固縮が関与するのは、よく知られた事実ですが、ピンボケ状態のまま見ていると眼球が変形し、目の奥に伸びていきます。



目の長さ(眼軸長)が伸びた目は、毛様体筋が調節を行っても目の奥の網膜にピントを合わせることが出来ません。これが出来ません。これを軸性近視と言います。軸性近視はピンボケの時間が増えて、眼軸長も伸び続け、近視が進行します。高度近視になりやすく、視神経や網膜が傷みます。将来、緑内障を合併しやすくなります。

最近の小中学生には、すでに視神経の変形がみられる子が増えています。端末を長時間見つめるため、毛様体筋が疲労し、ピンボケで軸性近視になったと考えられます。軸性近視の予防には30分以上ちかい距離で目を使わない、今まで以上に姿勢をよく、近視になれば放置せず、早く適正なメガネをかけることです。(院長・伊田 直史)

ことが出来ません。これを軸性近視と言います。軸性近視はピンボケの時間が増えて、眼軸長も伸び続け、近視が進行します。高度近視になりやすく、視神経や網膜が傷みます。将来、緑内障を合併しやすくなります。

伊田眼科クリニック

- ・眼科一般
- ・日帰り手術
- ・コンタクトレンズ取り扱い

| 診療時間 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日祝 |
|-------|---|----|---|---|---|---|----|
| 9:30 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | △ |
| 12:30 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | △ |
| 15:30 | ○ | 手術 | ○ | △ | ○ | ○ | △ |
| 18:30 | | | | | | | |

【休診日】木・土曜午後
日曜、祝日

TEL 079-556-8600

三田市武庫が丘7-7-4 エムズⅡビル1階 <http://www.ida-ganka.com>

